

# 事故報告書（概要書）

第 3 報

2025 年 6 月 11 日

工事番号	23-1-0164		報告者	米谷 大輔	
部門、部署	建築本部	第一工事部	現場責任者名	池田 和樹	
現場名称	(仮称)大谷流レイクミストラルサイドホテル(50室)新築工事				
被害者情報	氏 名		年 齢	生年月日	
	氏		歳		
現住所			職種	組積工(ALC工)	連絡先
勤務先 (所属会社)	会社名	有限会社サンシー工業	所在地		
	TEL		雇入年月日		
契約関係	(一次) カネマル工業(株) →(二次) (有)サンシー工業 →(三次)				
災害発生 年月日時	2025 年 5 月 31 日 11 時 0 分 頃				
傷害名	捻挫・打撲		傷害・部位	左足首 左首	
病院名	成田赤十字病院		治療・休業・日数	休業日数	4日以上 治療日数
					6月11日足の痛みがあり 現在休業中
災害発生の事実 確認者	氏名	米谷大輔	所属 会社	京成建設株式会社	
災害発生 の状況  (具体的に記入する)	・時系列で、事故発生の状況、警察・病院・監督署・発注者等への一次処置の内容 (いつ・どこで・なにが・どうして・どうなった)				
	日にち	時間軸	報告内容		
	31 日	11 : 00	事故発生。5階客室で2人でローリング足場上でALC下地アングル溶接作業していて、		
			ローリング足場が倒れた。		
		11 : 10	近くにいた他業者より米谷が連絡を受ける。池田所長に連絡する。		
		11 : 10	自宅にて連絡を受けた池田所長が現場へ向かう。		
		11 : 13	米谷が現地到着。状況確認を行う。		
		11 : 30	自身で歩行可能だったため、詰所まで戻る。		
		12 : 15	池田所長が現場到着		
		12 : 40	受入れ可能な病院が見つかった為、成田赤十字病院に向かう。		
		18 : 20	診察が終わり、病院から帰宅しました。		
		:			
		:			
		:			
	※特筆すべき事項を記載してください。				
2人作業で、転倒した。1人は腰を打っていて病院へ行くよう勧めたが、					
本人は問題ないというので、診察せず					
処 置 (連 絡)	※社内周知及び必要に応じて実施した警察・監督署・発注者等への二次処置の内容				
	施主・顧客				
	設計、監理者				
	所轄労基署				
	社 内	浅田本部長、大澤副本部長、有田部長、鎌田部長、田中次長、増田部長			
労災成立番号					

※ 連絡・報告については発注者、設計事務所、監督官庁(警察署、監督署、その他)等へは必要に応じて連絡すること。  
(重大事故における被災者家族対応・マスコミ対応等については、原則、本社管理部門と相談のうえ実施すること。)

状況写真・図面等(1)



状況写真・図面等(2)



原因	適合していないのローリング足場が組まれていた。
	使用禁止の表示が、明確ではなく、使用業者に周知されていなかった。
	キャスターのストッパーが掛けてない状態で使用していた。
	躯体の梁に、体重をあずけて作業しており、足に力を入れて前方に傾いてしまった。
再発防止対策	足場作成依頼は主任以上の社員が行い、組立後必ず確認する。
	適合した材料で、ローリング足場を組み立て使用する。
	ローリング足場使用上の注意を守って使用させる。